

◆ 【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】  
◆ SCステーションPR-27号 平成24年2月6日発行

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。  
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。  
現在の登録件数：3,833 件

\*\*\*\*\*

SCステーションは、クラブづくりの疑問や悩み解決のヒントとなるQ&A集で、現在245個あり、キーワード検索もできます。

本年度は、「SCステーション 私の活用法」として、クラブマネージャーや役員などクラブ関係者から、SCステーションを実際に使う場面や目的に応じて、役立つQ&Aを推薦していただきます。  
今月は、以下8個のQ&Aをご紹介します。

Q&A回答ページの文字が小さく感じる場合は、右上の「ページ」→「拡大」をクリックしていただくと、読みやすい大きさに画面を変更できます。

東日本大震災の応援情報もお届けします。ぜひ、ご覧ください！

\*\*\*\*\*☆目次☆\*\*\*\*\*

★設立前の準備段階で役に立つ★

- 1-35 創設時、既存団体のどの範囲に話をすべきですか？
- 1-28 自立に向けて、設立前までに何をしておけば効果的ですか？
- 1-29 過疎地で総合型クラブはつくれますか？

★行政との関係づくりで役に立つ★

- 1-33 クラブが行政と「いい関係」を築くには？
- 1-34 クラブ育成において行政は何をすればいいですか？

★学校との関係づくりで役に立つ★

- 1-10 学校部活動との良好な関係や連携は？
- 1-21 なかなか学校が協力してくれません。
- 2-29 学校の体育授業に協力しているクラブはありますか？

◆◇東日本大震災被災地 応援情報◇◆

- 「クラブ富士山」 郷土料理「ほうとう」で炊き出し

- スポーツ用品等の支援のご協力お願い
- 「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい

◆◇お知らせ◇◆

- ホームページ改変に伴うSCステーション検索機能の休止について
- 「フリーグ参入と地域での価値づくり」講演（3月3日）
- 

\*\*\*\*\*

★設立前の準備段階で役に立つ★

▼1-35 創設時、既存団体のどの範囲に話をすべきですか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/265.html>

クラブ創設の取り組みは、既存団体に情報としてしっかりと伝えなければなりません。クラブの理念や構想を描き、その実現のために既存団体との連携が必要か否か、また必要な場合の連携規模も事前に十分考えた上でアプローチしましょう。

▼1-28 自立に向けて、設立前までに何をしておけば効果的ですか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/182.html>

クラブづくりは「人づくり」に尽きます。どれだけ多様なキャリアと情熱をもった多世代の人材（スタッフ）を集め育てられるか、また、クラブの理念をしっかりと共有し、「自主、自立」の精神で運営できるように意志統一を図り、社会的な地位や肩書きにとらわれず、自由に知恵を出し合える仕組みづくりをしておくことが重要です。

▼1-29 過疎地で総合型クラブはつくれますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/183.html>

はい！つくれます。地域の特徴・環境を上手く活かして取り組み始めるのはいかがでしょうか。クラブの取り組み方は地域によって様々です。スポーツ・健康関連の事業との連携や、観光・自然環境も含むその地域ならではの資源（ヒト・モノ）を有効活用することでクラブづくりが一步前進します

★行政との関係づくりで役に立つ★

▼1-33 クラブが行政と「いい関係」を築くには？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/256.html>

「1人の住民」としてクラブの役員になってもらったり、スポーツ好きな職員を担当課でなくても取り込んだり、議会で提案してもらうのも1つの方法ですが、行政職員と定期的に対話をする場を設けることが一番です。

▼1-34 クラブ育成において行政は何をすればいいですか？  
<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/257.html>

総合型クラブをスポーツ振興計画、教育基本方針へ位置づけること、住民にクラブづくりの「きっかけ」を与えること、クラブに情熱を燃やせる「人」を探すこと、「クラブ」像について住民とともに協議することなどがあります。

★学校との関係づくりで役に立つ★

▼1-10 学校部活動との良好な関係や連携は？  
<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/16.html>

部活動もクラブもめざす「山」は同じだと思います。  
クラブと運動部活動は、二者択一の考え方ではなく、学校と地域の協働として捉えることがふさわしいと思います。

▼1-21 なかなか学校が協力してくれません。  
<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/127.html>

総合型クラブが学校と連携するためには、まず教育委員会と学校間での調整や合意が望まれますが、「総合型クラブに関する学校への情報提供」と「管轄する教育委員会との連携」が必要です。  
情報提供の場の設定や教育委員会との連携の方法に関しては、広域スポーツセンターや育成アドバイザーに相談してみましょう。

▼2-29 学校の体育授業に協力しているクラブはありますか？  
<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/276.html>  
小学校を中心に、いくつかのクラブが学校の体育授業に協力しています。  
学校体育授業への協力は、学校との信頼関係がしっかりできている証だといえます。  
学校との連携は、教育委員会や学校長への理解がポイントとなります。

\*\*\*\*\*

◆◇東日本大震災被災地 応援情報◇◆

●「クラブ富士山」 郷土料理「ほうとう」で炊き出し

山梨県クラブ育成アドバイザー進藤さんによる県内クラブの支援活動報告をお届けします。

「クラブ富士山」では、郷土料理の野菜たっぷり、みそ仕立て「ほうとう」での炊き出しを宮城県で行いました。

平成23年中に4回、1日約600食を提供し、現地の方にとっても喜ばれました。

日頃ボランティアとしてクラブに参加している地元の健康科学大学の学生も、大学で勉強したマッサージを避難所で行いました。

「身も心も軽くなった」と喜ばれ、この3月には合宿を兼ねて現地入りする計画を立てています。

心温まる活動です。ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

---

●スポーツ用品等の支援のご協力お願い

宮城県及び福島県の両体育協会では、ホームページ上にて、多くの子どもが震災で失ったスポーツ用品の支援をお願いしています。

被災地域の子どもたちが1日も早くスポーツ活動を行えるように、ぜひご協力をいただければ幸いです。

詳細は、下記関連リンクより、ご覧いただけます。

▼宮城県体育協会ホームページ

<http://www.miyagi-taikyo.or.jp/>

▼福島県体育協会ホームページ

<http://www.sports-fukushima.or.jp/>

---

●「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい

「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい。発信者のお名前（あればクラブ名も）と、連絡先（必要な場合）を書き添えて、以下送信ください（アドレスは発信専用です）。

[sc-info@japan-sports.or.jp](mailto:sc-info@japan-sports.or.jp)

<ご注意>日本体育協会では、情報の収集・仲介役となりますが、  
発信内容については発信者の責任のもと、クラブ・当事者間で、  
直接のやりとりをお願いします。

送信いただいた内容については基本的にそのまま掲載いたします  
ので、連絡先等、間違いのないようご注意ください。  
また、常識に照らし合わせて不適切な内容は、掲載可否について、  
こちらで判断させていただくことがありますので、ご了承ください。

\*\*\*\*\*

◆◇お知らせ◇◆

●ホームページ改変に伴うSCステーション検索機能の休止について

本会のホームページの「総合型地域スポーツクラブ」のページに  
あるSCステーションの検索機能は、当ページのリニューアル準備に  
伴い、一時休止いたします。(再開予定：平成24年4月1日)

SCステーション内の項目検索については、ページ下部「SCステー  
ションQ&A一覧『すべてのQはこちら』」に項目ごとに回答ページに  
リンクすることができますので、ご活用ください。

▼SCステーションQ&A一覧『すべてのQはこちら』

[http://www.japan-sports.or.jp/local/pdf/sc\\_q\\_list.pdf](http://www.japan-sports.or.jp/local/pdf/sc_q_list.pdf)

-----  
●「Fリーグ参入と地域での価値づくり」講演(3月3日)

NPO法人府中アスレティックFCは、東京都府中市を拠点に  
10年前から活動を開始し、ゼロからの出発でフットサルの全国  
リーグ「Fリーグ」の参入を果たしました。現在もトップチーム  
の強化とともに、地域に根差したクラブづくりに取り組んでいます。

将来トップチームを持ち、子ども達に夢を、高齢者に元気を  
与え、地域の一体感を高め、地域の求心力となる存在になりたい  
と考えている総合型クラブも増えてきました。

そこで今回、総合型クラブ関係者の有志による主催・運営で、  
NPO法人府中アスレティックFC理事長の千葉岳志氏をお招きし、  
Fリーグの参入経緯・方法、地域のステークホルダーに対する  
様々な取り組みと成果についてお話をいただきます。

トップチームを持ちたいと考えている方、地域とのよりよい関係

